

風水害に備える

毎年、日本各地で台風や大雨による災害が発生し、尊い命が失われています。市内でも、豪雨による土砂崩れの災害が発生しています。

災害への備えには、自分で自分の身を守る「自助」、近所や地域などで助け合う「共助」、市役所や消防署などの行政機関による「公助」の連携が大切です。

生命や財産を守るため、次のことを心掛けましょう。

くわしくは 総務課防災対策室 ☎21-5166

平常時の準備

災害に備えて、避難場所や避難経路、危険箇所（ハザードマップを活用）、自治会内の連絡網などの確認をしておきましょう。

災害発生前の準備

台風などによる大雨が予想される場合は、周囲の様子に注意して、気象警報などを確認しながら情報入手するよう努めましょう（図1）。

また、非常持出品（懐中電灯やラジオ、飲料水・食料など）を用意し、いつでも避難できる準備をしておきましょう。

なお、強風発生の恐れがある場合は、雨戸・窓の補強や、飛ばされたり倒れたりしそうな物の固定など家の周りの対策をしておきましょう。

土砂災害の前兆現象（図2）を確認したら

市役所や消防署に状況を連絡し、自治会など周囲の人たちに注意を促しましょう。

自主的な避難行動を

土砂災害警戒区域では、常に最新の情報の入手を心掛け、危険と感じたら地域で呼び掛け合い、区域外に避難しましょう。

その他の地域では、周囲の状況を確認し、避難に関する支援が必要な方に協力しましょう。

避難の際の注意事項

避難の前には、必ず火の始末をしましょう。また、機器類の電源を切りブレーカーを落とすなど、火災の防止に努めましょう。

避難の際の持ち物は背中に背負える程度の最小限のものにとどめ、両手が自由に使える状態にするよう心掛けましょう。

長靴は水が入ると歩きにくくなるので避けた方が無難です。

災害をやり過ぎすために

避難は、周囲の状況を確認し早め早めの行動が大切

アンダーパスの冠水にご注意ください

短時間に大量の雨が降ったり、長雨が続きたりすると、周りから水が流れ込んで道路が水没する「冠水」が発生することがあります。

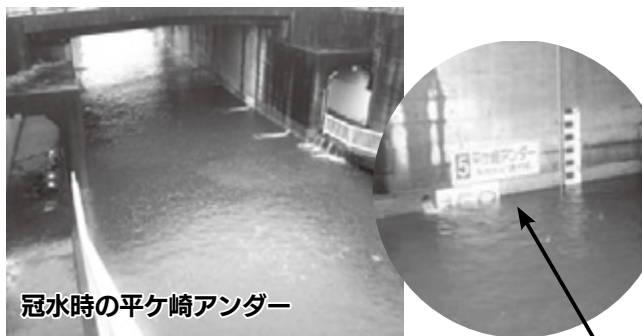
市内には、国道や県道、市道が鉄道や有料道路などとアンダー形式で立体交差する場所のうち、冠水に注意が必要な場所が15カ所（下表参照）あります。

○国道・県道についてくわしくは

◆今市警察署管内
県日光土木事務所保全部 保全第二課 ☎(53)1221

○市道についてくわしくは

◆日光警察署管内
県日光土木事務所保全部 保全第一課 ☎(53)1213
◆今市警察署管内 維持管理課 ☎(21)5160
◆日光警察署管内 ⑩産業建設係 ☎(54)1114



高さ約1m50cm以上の冠水

番号	アンダーパス名	アンダーパスの場所
1	あかがねこうしん 銅庚申アンダー	県道庚申山公園線入口 わたらせ渓谷鐵道ガード下(国道122号)
2	宝殿アンダー	東和町交差点東 J R日光線ガード下(国道119号)
3	しどぶろ 志渡淵アンダー	宝殿交差点日光IC側 J R日光線ガード下(市道日14056号線)
4	七里アンダー	宝殿交差点大谷川側 東武日光線ガード下(市道日34217号線)
5	平ヶ崎アンダー	春日町交差点南 J R日光線ガード下(国道121号線)
6	瀬川アンダー	春日町交差点北 東武日光線ガード下(国道121号線)
7	豊田アンダー	豊田公民館北 東武日光線ガード下(市道今35081号線)
8	朝日町アンダー	如来寺北 東武鬼怒川線ガード下(市道今33102号線)
9	千本木アンダー	J R今市駅東ガード下(市道今33443号線)
10	本町アンダー	日光市役所東 東武日光線ガード下(市道今1008号線)
11	八日市西アンダー	八日市公民館北 日光道ガード下(市道今36124号線)
12	八日市東アンダー	日光道大沢IC北ガード下(市道56019号線)
13	大沢アンダー	日光道大沢IC西ガード下(県道下野大沢停車場線)
14	木和田島アンダー	日光道大沢IC東ガード下(市道今46021号線)
15	明神アンダー	星宮神社北 東武日光線ガード下(市道今2040号線)

※市のホームページに市内のアンダーパスの位置図を掲載しています

図1：情報の入手方法

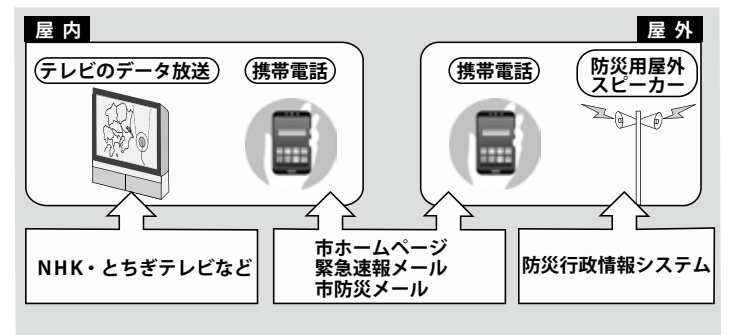


図2：土砂災害の前兆現象

土石流 ●山鳴りがする ●川が濁る ●倒木が流れてくる ●降雨時、川の水量が減る	がけ崩れ ●小石がバラバラと落ちる ●水が湧き出る ●がけや斜面に割れ目が発生する	地すべり ●沢水や井戸の水が濁る ●地面にひび割れや陥没が発生する ●家具の建て付けに異常が起きる
--	---	---

市の防災メール配信サービスをご利用ください

市は、市内における気象や地震などの情報をはじめ、交通情報や杉並不倒木などの災害関連の情報を皆さんへ伝える手段として、メール配信サービス（※）を行っています（通信料は登録者負担）。災害に備え事前に登録しておきましょう。

※メール配信サービスの登録方法は、29ページの「お知らせ情報プラス」をご参照ください